

第三次東京都子供読書活動推進計画（第三次計画） ■計画期間 平成27年度～平成31年度

目標1 不読率の更なる改善

H25			H31			H35			(国の目標)	
小2	小5	中2	高2	小2	小5	中2	高2	H24	H34	
2.6%	5.4%	13.2%	31.8%	⇒	⇒	⇒	⇒	4.5%	2%以下	
1.8%	3.8%	9.2%	22.3%	⇒	⇒	⇒	⇒	16.4%	8%以下	
1.3%	2.7%	6.6%	15.9%	⇒	⇒	⇒	⇒	53.2%	26%以下	

小学校全体で2%以下を目指す

※不読率とは、1か月の間に1冊も「本」を読まなかった児童・生徒の割合を指す。授業中に読んだものは含まない。

目標2 読書の質の向上

- 読む本の質の向上
読書の幅を広げ読解力をつける。
- 読書に主体的に関わる態度の育成
読書に喜びを感じたり、目的を持って本を読んだり、考えを深めたり、他人に伝えたりする。

目標3 読書環境の整備

区市町村における子供読書活動推進計画策定の推進及び読書活動を支える人材の育成。

平成29年度 調査概要

- 第二次計画・三次計画に基づき、隔年実施（平成21、23、25、27、29年度）
- 都内の子供の読書の状況、及び公立学校や公立図書館における読書活動等の現状を把握し、今後の施策に活用することが目的

1 実施期間

平成29年9月上旬～9月中旬
(この1か月間に本を読みましたか)

2 調査対象

(1) 読書状況調査

対象：都内公立学校の児童・生徒

小学校：32,321人

中学校：15,884人

高等学校：46,358人

(高校2年生のみ全数調査、他学年は5%を目安に抽出)

(2) 読書活動取組状況調査

対象：①都立学校及び都内公立小中学校 2,247校

②都内区市町村教育委員会

③都内区市町村読書活動主管課 (図書館等)

3 調査方法

質問紙により実施

※以下のものは「本」に含まない

教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集

※平成27年度は通常の学校生活での不読率を把握するため、第2学期以降の期間を調査対象としたが、平成29年度は夏休みを含む期間を対象とした。

児童・生徒の読書状況について

児童・生徒の不読率

(1) 1か月間に「本」を読んでいない児童・生徒の割合 (%)

	H19	H21	H23	H25	H27	H29
小2	5.8	5.7	5.0	2.6	3.3	3.3
小5	9.0	8.4	9.4	5.4	5.0	3.7
中2	23.4	25.0	20.6	13.2	11.1	11.1
高2	47.8	55.5	51.6	31.8	36.8	28.8

※塗りつぶされた項は、前回調査に比べ不読率が減少

長期的には、改善の傾向が見られる。平成29年は、高校2年生の不読率が8%減少し、小学2年生を除いていまままで良い結果となった。

(参考) 全国1か月間に本を読んでいない児童・生徒の割合 (%)

	H19	H21	H23	H25	H27	H29
小学生	4.5	5.4	6.2	5.3	4.8	5.6
中学生	14.6	13.2	16.2	16.9	13.4	15.0
高校生	47.9	47.0	50.8	45.0	51.9	50.4

学校読書調査 一部抜粋 (全国学校図書館協議会)

(2) 「本」を読まなかった理由【複数回答可】 (%)

	読みたい本がなかった	本を読む時間がなかった	本を読むことに興味がない	文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどろ	どれもあてはまらない	無回答
小2	45.0	29.4	23.3	16.1	13.9	4.1
小5	36.1	26.7	37.1	23.3	13.9	6.7
中2	44.7	33.4	50.4	27.3	7.3	3.0
高2	34.7	37.3	37.2	15.7	9.4	4.8

※塗りつぶされた項は、各学年の回答の多い項目上位2つ

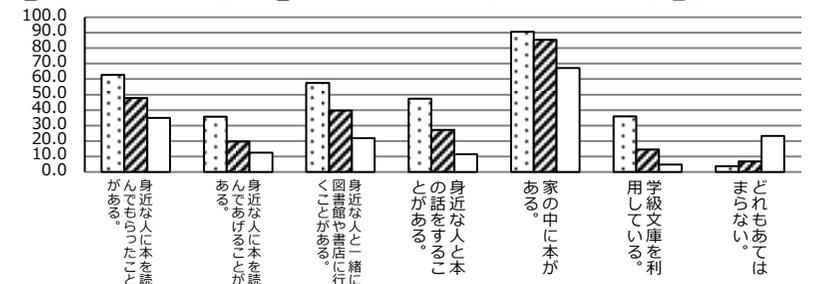
小中学生では、「読みたい本がなかった」という回答が多い。また、全体的に「本を読むことに興味がない」の回答が多かった。

高校生では、3項目が同程度の割合を占めている。

身近な環境

「本」を読んでいる児童生徒と読んでいない児童生徒の身近な環境の違い (%)

□読み終わった本が1冊以上ある ■読み終わってはいないが、途中まで読んだ本はある □全く読んでいない



グラフを見ると、「本」を読んでいる児童生徒は、身近な人と本を通じてコミュニケーションをとっている割合が高い。また、本を全く読んでいないと回答した児童生徒は、「どれもあてはまらない」と回答する割合が高くなっている。

本を読んでいる児童生徒

本を読むことが好きな割合 (%)

	H25	H27	H29
小2	59.6	60.0	57.9
小5	45.1	46.3	45.0
中2	33.9	36.9	35.3
高2	28.7	31.4	29.1

1か月間で本等を読んだ児童生徒の割合 (%)

	H27	H29
小2	94.6	90.4
小5	94.6	94.7
中2	93.4	91.3
高2	77.9	77.3

1か月間で本等を読んだ児童生徒のうち、日本や海外の生活・文化について書かれているものを読んだ割合 (%)

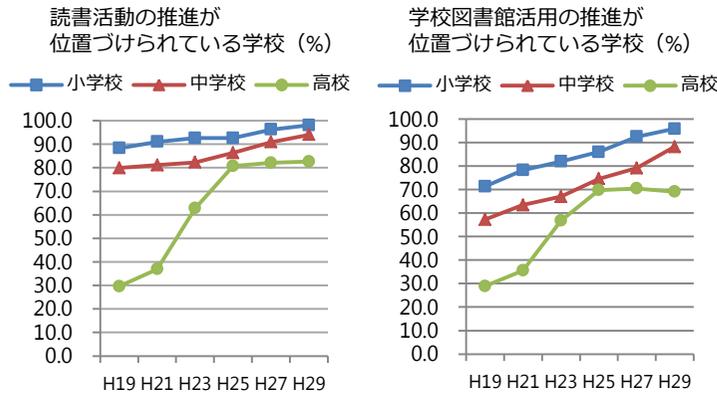
	H27	H29
小2	—	—
小5	47.6	50.6
中2	31.4	33.0
高2	31.1	33.0

本を読むことが好きと回答をした割合は、調査年度によって増減をしているが、概ね同じ割合で推移している。

調査対象の1か月間で本を読んだ児童生徒のうち、日本や海外の生活・文化等について書かれているものを読んだと回答した割合は上昇している。

学校全体の読書活動推進に向けた取組

学校経営方針（計画）・学校図書館について



学校図書館の利用状況 (%)

	H25	H27	H29
小1	95.3	95.9	95.1
小2	94.6	95.8	93.8
小3	90.1	92.4	92.0
小4	89.8	92.1	88.9
小5	84.3	89.4	85.7
小6	79.7	85.5	82.7
中1	69.9	74.1	72.0
中2	49.8	61.0	57.7
中3	44.1	53.6	54.1
高1	45.7	45.5	51.2
高2	39.4	42.1	40.3
高3	55.8	57.1	59.9
高4	38.7	51.7	46.2

学校経営方針に「読書活動の推進」や「学校図書館活用の推進」が位置づけられ、学校全体で読書活動推進に取り組もうとする学校は増加している。学校図書館の利用率は、学年が上がるにつれ減少しており、中学1年生と中学2年生の間で特に顕著に利用率が下がる傾向がある。

※塗りつぶされた項は、前回調査に比べ割合が増加

学校での取組について

朝や昼休み等に読書時間を設定している割合 (%)

	H19	H21	H23	H25	H27	H29
小学校	88.3	94.7	94.5	94.6	96.3	96.8
中学校	76.0	89.3	88.6	90.1	90.5	94.6
高校	7.0	12.0	18.2	26.3	25.6	22.4

高校では、「読書時間を設定している割合」以外、いずれの割合も前回調査より1~4%程度増加した。調査年度によって多少の前後はあるが、年を経るごとに微増しており、学校での取組は少しずつ促進されていると考えられる。

独自の「課題図書」等のリストを作成している割合 (%) 教師の推薦図書を生徒に紹介している割合 (%)

	H19	H21	H23	H25	H27	H29
小学校	39.4	46.6	51.4	51.5	58.9	62.3
(内訳) 全校	25.3	34.2	38.7	40.5	44.1	51.2
一部	14.1	12.4	12.7	11.0	14.8	11.1
中学校	46.2	52.2	51.6	55.8	57.4	59.3
(内訳) 全校	32.8	35.7	37.8	39.7	41.8	47.4
一部	13.4	16.5	13.8	16.1	15.6	11.9
高校	34.1	51.8	55.5	62.5	56.5	57.6
(内訳) 全校	13.2	21.1	25.4	44.6	37.2	34.4
一部	20.9	30.7	30.1	17.9	19.3	23.2

	H19	H21	H23	H25	H27	H29
小学校	78.9	85.6	83.9	81.9	86.2	87.8
(内訳) 全校	45.4	51.3	55.4	52.7	57.0	62.6
一部	33.5	34.3	28.5	29.2	29.2	25.2
中学校	71.6	80.5	79.6	81.4	81.9	85.1
(内訳) 全校	41.8	51.3	55.7	53.2	54.1	57.8
一部	29.8	29.2	23.9	28.2	27.8	27.3
高校	64.4	82.5	79.7	87.0	80.7	83.8
(内訳) 全校	33.4	48.0	48.3	62.1	53.3	58.3
一部	31.0	34.5	31.4	24.9	27.4	25.5

※塗りつぶされた項は、前回調査に比べ割合が増加

高校における不読率の改善

不読率50%以上の高校の数（校数）

	H21	H23	H25	H27	H29
全日	132	111	50	39	17
定時・通信	24	20	19	16	16

不読率が著しく高い（50%以上）高校は年々減少しており、底上げがなされている。

高校2年生の不読率も調査を重ねるごとに減少しており、取組等の成果がでていると考えられる。

高校2年生の不読率 (%)

	H21	H23	H25	H27	H29
全日（再掲）	55.5	51.6	31.8	36.8	28.8
定時・通信	47.9	46.2	42.7	39.2	36.8

※塗りつぶされた項は、前回調査に比べ割合が増加

東京都教育委員会の主な取組

平成29年度までの取組

<高校への働きかけ>

- 調べ学習支援講座【都立図書館】
学校の申込みを受けて、図書館を利用した文献調査方法の説明や館内見学を実施
- 生徒と図書館をつなぐ取組【都立図書館】
生徒を図書館に招待し、館内見学、講演会、ワークショップを実施

<成長段階に応じた全体への働きかけ>

- レファレンスサービスの実施【都立図書館】
- 研修や学校等への講師派遣【都立図書館】
- 学校支援用ブックリストの作成・配布【都立図書館】
- 出張おはなし会や学校図書館の選書支援【都立図書館】
- 平成28年度に、読み聞かせボランティアスキルアップのための啓発資料（DVD）を作成、都内小中学校・区市町村立図書館に配布【地域教育支援部】
- 平成28年度に、冊子版「都立中央図書館で学ぶ！はじめてのレポート・論文作成ガイド」（中・高生対象）を作成。平成29年度に、都立学校（高校・中学・中等・特別支援）252校に冊子版を各15部ずつ配布及び都立図書館ホームページに掲載。【都立図書館】

今後の取組

<高校への働きかけ>

- 不読率の結果がよくない都立高校について、研修センターで実施の「読書活動 I」の研修への出席を促す（不読率50%以上の学校を対象とする）。
- 都立学校へ訪問し、改善事例等を収集。収集した事例の周知を行う。
- 都立図書館での調べ学習支援講座や生徒と図書館をつなぐ取組の継続

<成長段階に応じた全体への働きかけ>

- 都立図書館での取組を継続
- 学校や図書館での先駆的な事例の共有化